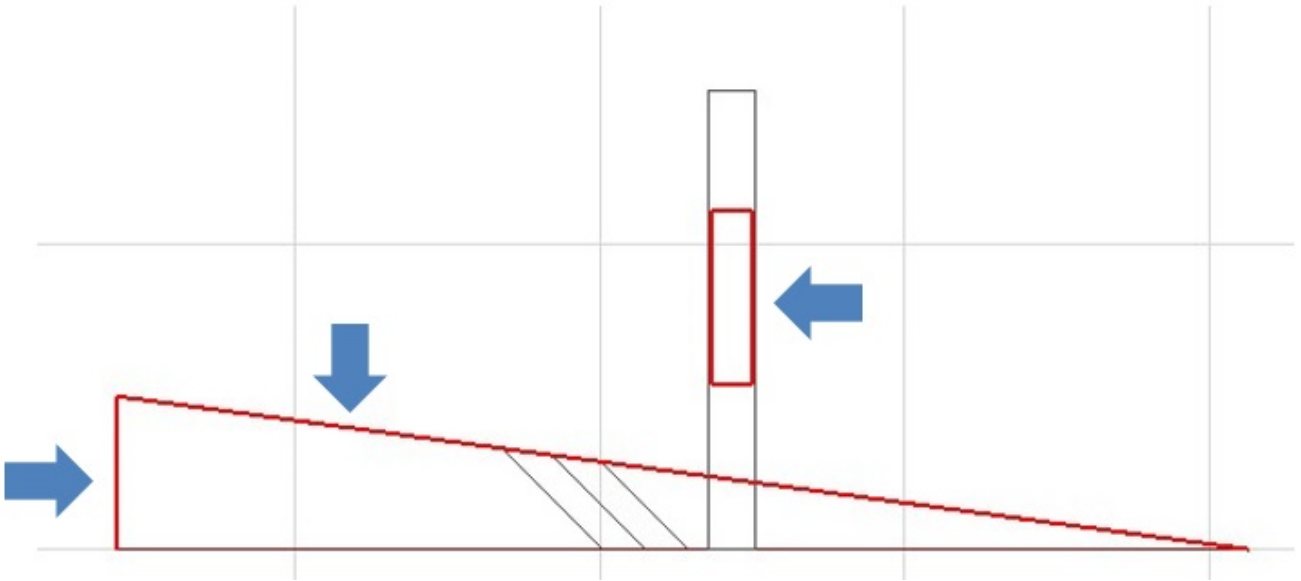


2D表示

断面図を開くと要素が赤く表示される

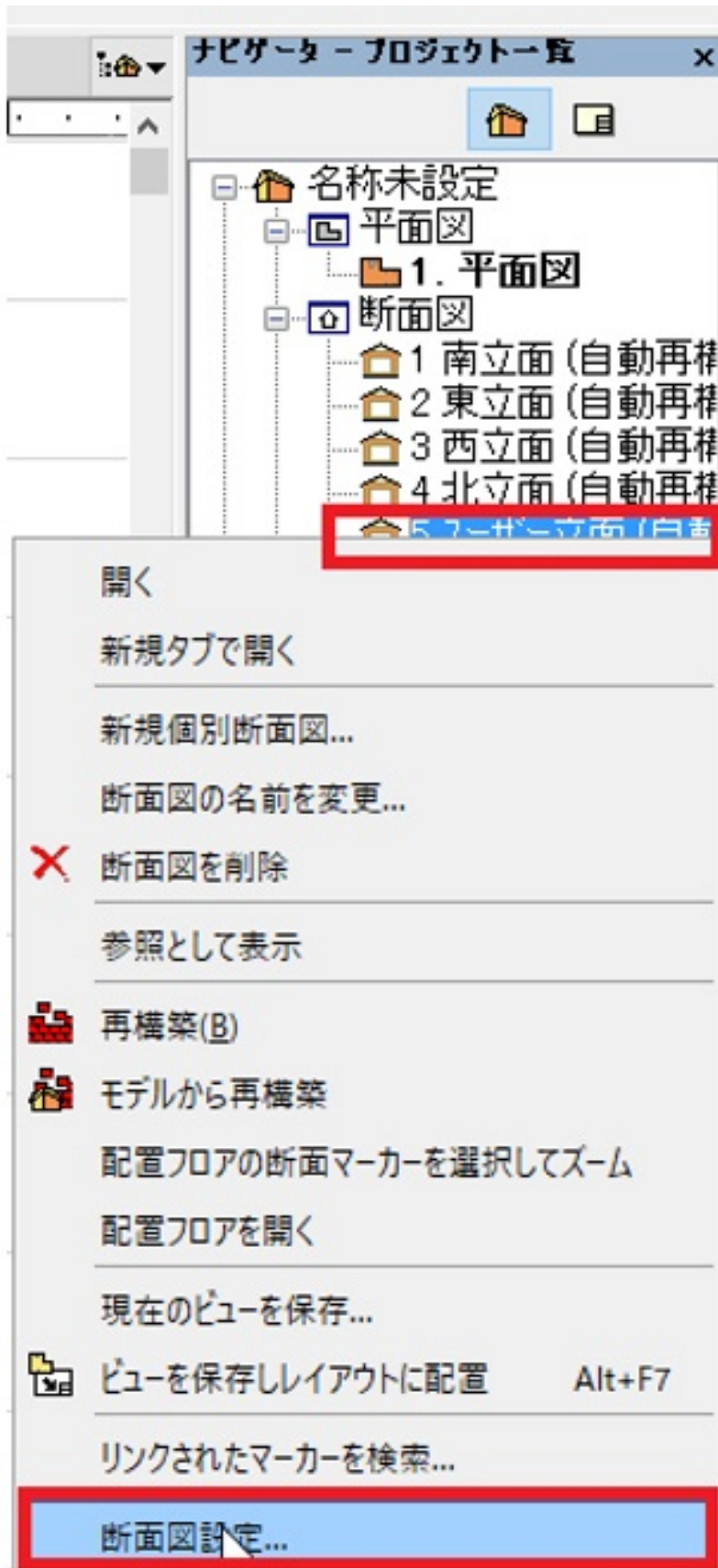
ユーザー立面図を表示した際、断面線が各要素の間を挟んだ場合、下記の青い矢印の個所の様に、各要素の輪郭線が切断線として赤く表示されます。
印刷時に白黒のチェックを入れた場合は黒く出力されます。



以下の設定を変更する事で、他の色に変更する事ができます。

1. ナビゲーター内、該当の立面図で、右クリック 「断面図設定」をクリックします。

2D表示



2. 「モデル表示」の中、「切断線ペン」の色を任意に変更し、「OK」ボタンを押します。

2D表示

選択した断面図の設定

×

F03 断面図

▶

選択内容:1 編集可能:1

▼ 一般

参照ID:

5

名前:

ユーザー立面

ソースマーカー

▼

マーカー参照先

ビューポイント

参照...

参照先:

¥断面図¥5 ユーザー立面 (自動再構築モデル)

状態:

自動再構築モデル

▼

水平範囲:

☐ 無限

☒ 有限

☐ 切断面のみ

垂直範囲:

☒ 無限

☐ 有限

GLから

0

-1000

▶ マーカー

▶ マーカーのカスタム設定

▼ モデル表示

▼ 切断要素

切断表面を塗りつぶし: 切断塗りつぶし...

切断要素に統一ペン ☒

☒ 切断線ペン

0.10 mm

1

切断塗りつぶしペン

0.18 mm

14

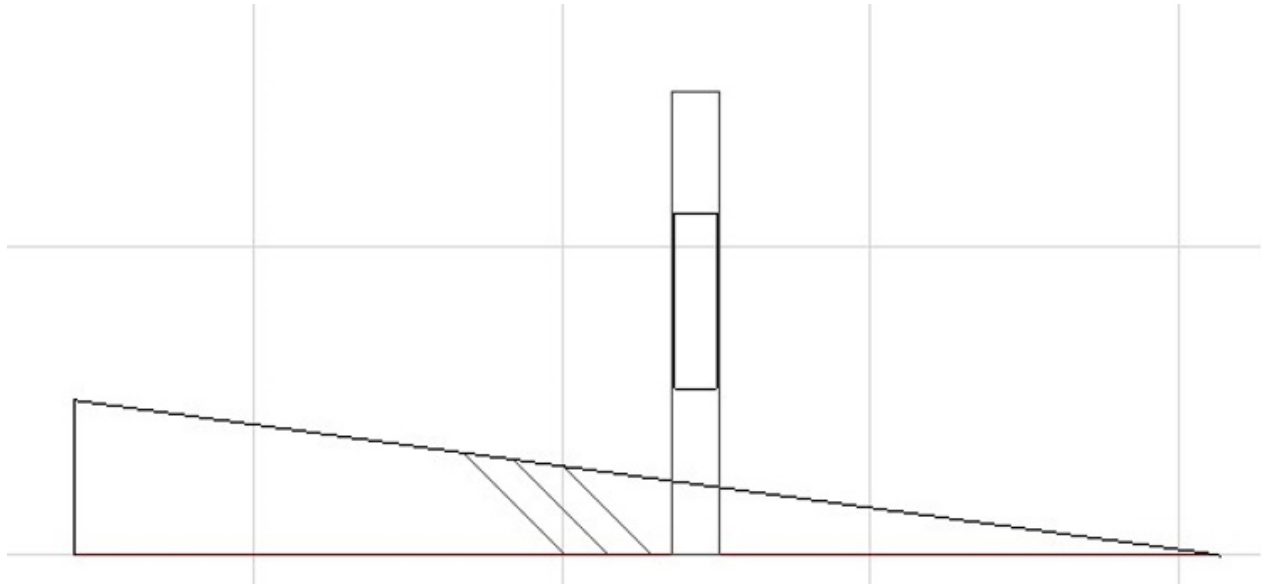
切断塗りつぶし背景ペン

透過

0

3. 以上で変更が反映されます。

2D表示



関連項目

- [任意の方向からの立面図を作成したい](#)

一意的なソリューション ID: #1839

製作者: ヘルプデスク

最終更新: 2017-12-18 13:18